請　願　文　書　表
（令和８年第４回定例会）

請　願　第　７　号	令和８年１１月４日受理
付　託　委　員　会	文教経済常任委員会
件　　名	プラスチック類の分別収集開始に合わせた指定ごみ袋値上げの検討をやめることを求める請願
紹　介　議　員	堀　口　明　子　議員　　三　田　　登　議員 飯　川　英　樹　議員

請　願　要　旨

新日本婦人の会は１９６２年１０月１９日に平塚らいてうやいわさきちひろの呼びかけで結成された、個人加盟の女性団体です。国連経済社会理事会の特別協議資格を持つ国連ＮＧＯです。

私たちの主な目的の一つに「生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせる」とあります。

現在の物価高騰の影響、さらにこの物価高はいつ終わるともわからない不安な状況は、市民の暮らしをおびやかしています。

八千代市では、物価高騰対策として水道基本料金の免除などを実施し、市民生活を支えようとしています。しかし、その一方では指定ごみ袋の値上げを前提として検討が行われています。

７月の八千代市減量等推進審議会では、ごみ処理手数料が議題となっていました。市は「プラスチック類の分別収集開始に合わせ、指定ごみ袋等の手数料の見直しを検討している」と説明していました。使用された資料は１月に配布されたもので、４０リットル１０枚１袋２４０円を４００円などと書かれていてびっくりしました。

近隣の船橋市、習志野市、佐倉市は、家庭ごみ処理は無料です。手数料はありません。千葉県北西部の１３市では、八千代市と野田市だけが有料です。

市民が物価高で苦しんでいる中で、令和１０年１０月の分別収集開始に合わせて、手数料の値上げを検討する必然性はありません。どうしても値上げしなければならない事情があるならば、十分な時間をとり市民が納得するまで議論を尽くしてください。

請願要旨

請　願　文　書　表
（令和８年第４回定例会）

１．プラスチック類の分別収集開始に合わせた指定ごみ袋値上げをやめることを求めます。